

課題の整理

1 地域によって、交通手段の選択肢や満足度に差があること

- ・市内各地の住宅地から、鉄道駅や日常生活の利便に資する諸施設への円滑な移動
- ・市内に複数の公共交通空白・不便地域が残っている。
- ・地域や鉄道駅によって交通手段の選択肢に差がある。
- ・一部の満足度が低い地域の移動の利便性の向上
- ・市内、市外鉄道駅へのアクセスの利便性確保
- ・買物先まで 15 分、通院先まで 20 分を目安に移動できること
- ・鉄道駅までの利便性の向上
- ・市民の移動に対する満足度は高い。

2 良好な交通環境を実現するための基盤の整備

- ・市内に複数の公共交通空白・不便地域が残っている。
- ・地域や鉄道駅によって交通手段の選択肢に差がある。
- ・市内、市外鉄道駅へのアクセスの利便性確保
- ・広幅員の道路がある一方で、生活道路は狭幅員の道路が多い
- ・市内の幹線道路で渋滞が発生している。
- ・バスの経路変更の要望や宅地開発による新たな需要への対応
- ・自動車走行環境、自転車走行環境、歩行環境の改善（交通の円滑化、歩行者等の安全確保）

3 交通手段相互の連続性

- ・鉄道駅までの利便性の向上
- ・地域や鉄道駅によって交通手段の選択肢に差がある。
- ・市内、市外鉄道駅へのアクセスの利便性確保
- ・利用者満足度の向上（他の交通手段との乗り継ぎ、駅周辺の駐輪場の改善、駅や主要施設でのタクシーの待機台数、等）

4 来街者が便利に市内を移動できること

- ・来訪者の円滑な移動

5 公共交通に関する情報提供

- ・利用者満足度の向上（ホームページやアプリでの情報提供、等）
- ・情報提供（中学生アンケートの困りごとより）
- ・来訪者の円滑な移動
- ・公共交通利用における各種アプリや決済方法の導入に伴う I T 化への対応
- ・免許返納の促進や自動車等から公共交通利用への転換の促進

6 駅やバス停での安全性や快適性

- ・利用者満足度の向上（ホームのバリアフリー、バス停の環境、等）

7 移動に困難を感じている人の移動の円滑化や快適性向上

- ・高齢化の進行による需要の変化（年代に合わせた移動手段の確保）
- ・自動車利用頻度が高い高齢者が利用しやすい公共交通の実現
- ・移動に困難を感じている人の移動の円滑化や快適性向上を目指すことが必要
- ・要介護者や未就学児と一緒に外出しやすい交通環境
- ・外出が困難な人に対する支援は、高齢者や障害者などの生活における支援策として一体的な取り組みが必要
- ・UDタクシーなどの車いす等が乗降しやすい車両台数の確保が必要

8 公共交通サービスの維持

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの変化、将来的な人口減少などによる利用者の減少
- ・高齢化や労働環境の改善に伴う乗務員の担い手不足
- ・利用者の減少、収支悪化、担い手不足などの諸問題に対する支援策の要望
- ・公共交通の主な役割として「移動利便性の向上」「指導に制約がある人の重要な移動手段」が認識されているが、特定の役割に特化するのではなく、様々な役割が期待されている。

9 公共交通の利用促進

- ・自動車や自転車利用から公共交通利用への転換の促進
- ・免許返納の促進と返納サービスの検討
- ・新型コロナウイルス感染症による利用者の減少
- ・市民ニーズに即した新たな交通手段の導入検討

10 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

- ・自動車等から公共交通利用への転換の促進
- ・環境に配慮した運行
- ・市民ニーズに即した新たな交通手段の導入検討
- ・シェアサイクルの導入の検討

11 多様な主体との連携、協力

- ・移動に困難を感じている人の移動の円滑化や快適性向上を目指すことが必要
- ・市民ニーズに即した新たな交通手段の導入検討
- ・計画の内容が実現可能なものとなるような継続的な協議